



Morinaga Keisuke

- 所属：行政評価局評価監視調査官
- 名前：森永 桂介 平成5年度入省

あなたにとって仕事とは

「目標達成の積み重ね」です。政策評価においては、必ず目標を掲げます。大きな政策目標の達成のために、困難を乗り越えつつ自分に課された目標を達成する喜び、その喜びの積み重ねが自身の成長の糧となっています。

求める人物像

経済社会情勢が常に変化する中、その変化に対応し、国の仕事においても様々な課題の解決が求められます。その課題の解決のために何ができるかを様々な観点から考え抜ける方と一緒に仕事をしたいですね。

志望者へのメッセージ

皆さんには、国や国民のために〇〇をやりたい！という何か心に思い決めた「志」があるのではないですか？総務省には国民に身近な幅広い仕事がたくさんあります。是非、その熱い「志」の実現場所を見つけてください。



Hodaka Hiroyuki

- 所属：統計局国勢統計課課長補佐
- 名前：保高 博之 平成3年度入省

あなたにとって仕事とは

「自分自身を成長させてくれるもの」です。現在、統計業務を担当していますが、これまで、他省庁への出向も含め、人権問題や沖縄振興、高齢社会対策など様々な分野の仕事に携わってきました。悩むことや、つらい時期もありますが、振り返って見れば、どれも良い経験として自分の糧になっているような気がします。

仕事の極意

仕事では様々な場面で組織や個人との調整が必要となりますが、資料や話の中で表現されていない部分もあるので、「行間を読む」ことを意識しながら仕事をしています。

志望者へのメッセージ

総務省は国民に身近なところで幅広い仕事を担っています。皆さんの関心事の中から、何かしら総務省の政策に繋がるものが見つかるはず。やる気と協調性のある方をお待ちしています。



Ikegami Haruki

- 所属：上越市財務部長
- 名前：池上 治樹 平成6年度入省

あなたにとって仕事とは

「できない理由を考えるのではなく、どうしたら出来るか考えよう」。一番心に響いた市長の言葉です。一つ一つの仕事は小さくても、前向きな積み重ねが、より良い社会を、より良い地域を築いていくものだと考えています。

やりがいを感じた瞬間とは

係長時代に数十年来の課題を解決する法改正に携わることができました。自分の仕事が1700ある地方公共団体に大きな影響を及ぼすことはプレッシャー但也有りますが、達成感はそれ以上です。

志望者へのメッセージ

「総務省」という省名はわかりづらいですが、誰もが身近に感じることが出来る幅広い仕事があります。是非「総務省」の門をたたいてみてください。



Ishiguro Tomoaki

- 所属：自治財政局地方債課主幹
- 名前：石黒 智明 平成8年度入省

あなたにとって仕事とは

社会をよりよくするための手段であると同時に自己鍛錬の手段です。私が受け持っている仕事は直接何かを作ったり、守ったりするものではありませんが、地方公共団体が安心して住民サービスの維持向上を行うためになくてはならないものと実感しています。そのため、ますますよりよい仕事をしようと思い、自然と文章力、説明力、そして仕事で関わる人への思いやりに磨きがかけられていると感じています。

やりがいを感じた瞬間とは

平成23年度に創設された震災復興特別交付税の算定実務に携わり、具体的に算定の仕組みを構築できたことです。現地で直接お手伝いできるのがベストでしたが、間接的にでも被災地のために役立つ制度創設に関われたことにやりがいを感じました。

求める人物像

自分の考えを持ちつつ、真摯に他者の意見を聞ける人です。社会が複雑化し、価値観が多様化している今日、各地方公共団体では行政サービスのありかたに日々創意工夫が求められています。各地方公共団体が安心して行政サービスに専念できるよう、様々な意見を聞きながら問題を見極め、解決策を模索していこうという意欲のある方と仕事をしていきたいですね。



Doi Yoshiyuki

- 所属：大臣官房政策評価広報課広報室 広報報道専門官
- 名前：土井 義之 昭和61年度入省

あなたにとって仕事とは

人によって様々な考え方がありますが、仕事が楽しくうまくいくと非常に有意義な人生を送ることが出来るようになると思います。自分を成長させるための手段と言えるのではないのでしょうか。

仕事の極意

まずはよく知ることではないでしょうか。なぜこの仕事が必要か、この仕事がうまくいくにはどうすればいいか、この仕事をしたらどういう結果になるのか。分からなければ、誰でもいいから聞くこと、遠慮しないで人に頼ることです。

志望者へのメッセージ

毎年、今年の新人は〇〇型とか記事になりますが、正直10年前と大きく違うということはないのではないかと思います。型にはまらず、いろいろなことに興味をもつことが良いのでは。総務省は本当に幅の広い仕事をしてますよ。



Kanda Takeshi

- 所属：情報流通行政局地域通信振興課 課長補佐
- 名前：神田 剛 平成5年度入省

求める人物像

各府省や企業の担当、大学の先生などと調整して政策に反映していくためには、きちんとコミュニケーションを取ることが出来る人が求められます。この点は、公務員でも民間でも同じだと思います。

やりがいを感じた瞬間とは

防災や地域活性化に関する施策を担当しています。以前関係者に説明した時には、なかなか賛同を得られなかったのですが、数ヶ月後「この施策の必要性がわかった」と言われた瞬間です。

志望者へのメッセージ

採用後の配属や業務は、希望どおりの場合もあれば、そうでないこともあると思います。でも、自分の糧になると思ってがんばってください。総務省は、気づかないうちに立派な行政マンをつくりあげる役所です。